

天才たちが
この世を去ってから
100年

オーストリア 世紀末芸術を回る旅



オーストリア

Austria

Vienna ウィーン

1918年、ヨーロッパのアートシーンに絶大な影響を与えた
4人の天才がこの世を去った。クリムト、シーレ、ワーグナー、モーザー。
死後100年となる2018年は、ウィーン市内の博物館や美術館で
彼らの特別展が開かれる予定。
5月に直行便が就航したばかりのウィーンは、今こそ行きどきののだ。

© オーストリア政府観光局 / Crane



上 / ベルヴェデーレ宮殿に収蔵、展示されているクリムトの名作『接吻』
下 / ウィーン分離派の展示会場であったセセッション。月桂樹の葉をモチーフとしたドームの下には「時代にはその芸術を、芸術にはその自由を」というスローガンが刻まれている

ウィーン ●

Alessandro Cristiano / shutterstock.com



世紀末芸術とは？

19世紀末にヨーロッパ中を席卷した新しい芸術様式。フランスでは「アールヌーヴォー」、ドイツでは「ユークゲントシュティール」と呼ばれる。ウィーンでは1897年にクリムトが結成した芸術団体、ウィーン分離派を中心として広がった。

文：グルーボ・ピコ(地球の歩き方)

没後
100年

4人の天才芸術家

グスタフ・クリムト

Gustav Klimt (1862~1918年)

ウィーン郊外のバウムガルテンに生まれた、世紀末芸術を代表する画家。芸術界ではそれまでタブーとされてきた「エロス」や「死」など、人間の内向的なものをテーマとした作品を多く残した。『パラス・アテネ』や『接吻』といった金箔を多用したきらびやかな作品は、クリムトの真骨頂。絵画のほかフレスコ画も多く手がけた。フレスコ画の代表作は、セセッションにある3枚の壁画からなる連作『ペーターベンフリース』。



美術史博物館にあるフレスコ画。芸術の発展過程をテーマとしている



『死と生』。レオポルト美術館展示、所蔵 ©Leopold Museum Wien

代表作

- パラス・アテネ 1898年
- ペーターベンフリース 1901年
- ユディト I 1901年
- 接吻 1907~1908年



『ほおずきの実のある自画像』。レオポルト美術館展示、収蔵 ©Leopold Museum Wien

代表作

- ほおずきの実のある自画像 1912年
- ヴァリーの肖像 1912年
- 死と乙女 1915年



『ヴァリーの肖像』。レオポルト美術館展示、収蔵 ©Leopold Museum Wien

エゴン・シーレ

Egon Schiele (1890~1918年)

クリムトに見いだされ、アトリエに出入りするなど親交の深かった画家。クリムトと同じウィーン工芸学校で学んだあと、ウィーン美術アカデミーへと進学。1909年にアカデミーを退校後、本格的に画家として活動をスタートさせる。作品のテーマは、やはり「エロス」や「死」。ただしクリムトのようなきらびやかな画風ではなく、より刺激的で躍動感が感じられる。ヌードを含む人物画や風景画、そして数多くの自画像を残した。

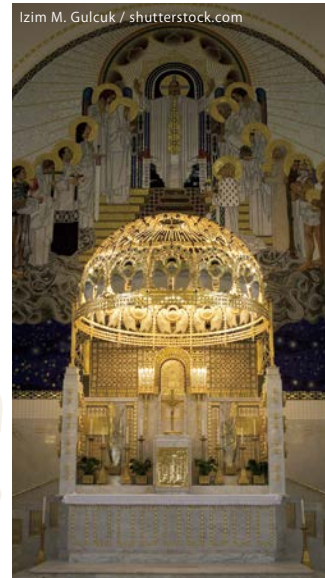
コロマン・モーザー

Koloman Moser (1868~1918年)

ウィーン分離派のひとりであるデザイナー。ワグナーとの関わりが深く、シュタインホーフ教会の祭壇やモザイク画、ステンドグラスなどは彼の作品。ほかの3人に比べ日本では知名度が低い。インテリアデザインのほか絵画、家具、ポスターなどの分野でも活躍した、多才な人物。



ワグナーの設計したシュタインホーフ教会



シュタインホーフ教会の祭壇

代表作

- セセッション (装飾の一部) 1898年
- シュタインホーフ教会 (モザイク画、ステンドグラス) 1907年



カールスプラッツ駅。ウィーン市営地下鉄施設のひとつ



イタリアのマジョリカ産のタイルで飾られたマジョリカハウス

代表作

- マジョリカハウス 1898年
- カールスプラッツ駅 1899年
- シュタインホーフ教会 1907年
- ウィーン郵便貯金局 1906~1912年

オットー・ワグナー

Otto Wagner (1841~1918年)

クリムトが設立した芸術団体、ウィーン分離派の中心人物のひとり。花や植物など有機的なモチーフを取り入れたアールヌーヴォー様式の建築物を多く設計したが、晩年には機能主義の近代建築物も残した。作品の多くはウィーンおよびその近郊にあり、マジョリカハウスやカールスプラッツ駅はアールヌーヴォー期の代表作。シュタインホーフ教会とウィーン郵便貯金局は、近代建築の傑作として知られている。

ウィーンの 美術館巡り

古くから「芸術の都」と称されるウィーンには、数多くの美術館がある。最も有名なのは、ブリューゲルやフェルメール、ラファエロ、ルーベンスなどの傑作がめじろ押し美術史博物館。クリムトの絵画はないものの、正面階段を上った壁面の上部に描かれたフレスコ画は、クリムトの作品だ。

クリムト目当ての人は、ベルヴェデーレ宮殿へ。優雅なバロック建築の宮殿は内部が美術館になっており、なかでもクリムトのコレクションは世界最大。かの『接吻』が収蔵されているのもここだ。クリムトの弟子であるシーレの作品は、ミュージアムクォーターという博物館・美術館地区にあるレオポルト美術館に多くが収蔵されている。

各美術館は「リンク」と呼ばれるウィーン中心部をぐるりと回るトラム路線の南に位置している。1日あればはじめることもできるので、右ページのモデルルートをもとに回ってみて。



1



2



3

©Leopold Museum Wien



4

- ① 荷物はクロークに預けて静かに見学しよう
- ② 宮殿を利用した豪華な内装にも注目
- ③ クリムトやシーレなどの人気画家には専門のコーナーも。レオポルト美術館にて
- ④ 美術館の限定グッズはおみやげにぴったり

ウィーンの3大美術館



美術史博物館

Kunsthistorisches Museum

19世紀末に建てられた歴史的な建物を利用。『パベルの塔』や『雪中の狩人』などブリューゲルのコレクションは世界最大。絵画のほか古代ローマ、ギリシアの彫刻も充実。

URL: www.khm.at



レオポルト美術館

Leopold Museum

ミュージアムクォーターにある美術館のひとつ。ルドルフ・レオポルト氏の個人コレクションを公開。シーレの作品は実に200点を数え、特設コーナーが設けられている。

URL: www.leopoldmuseum.org



ベルヴェデーレ宮殿

Schloss Belvedere

オーストリアの英雄、プリンツ・オイゲン公の夏の離宮。上下ふたつの建物が、上宮が美術館となっている。『接吻』をはじめ代表作の数々が展示されたクリムトの間は必見。

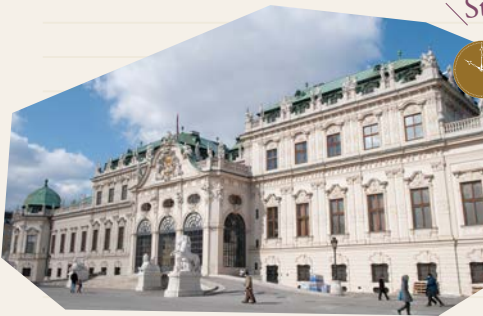
URL: www.belvedere.at

3大美術館
を回る

ウィーン1日モデルルート

左ページで紹介した3つの美術館を回るモデルルートを紹介。ウィーングルメも楽しめちゃう!

Start! /



10:00

ベルヴェデーレ宮殿

リンクから少し離れたベルヴェデーレ宮殿は、朝イチで攻略! 内部はそれほど広くないので、1時間もあればひと通り見て回れる。



12:00

セセッション

お次は、ウィーン分離派の本拠である展示館、セセッションへ。クリムトの壁画『ペーターベンフリース』は必見!

Lestertair / shutterstock.com

ワインバーも
人気だよ

Radiokafka / shutterstock.com



13:00

ナッシュマルクトで さくっとランチ

時間をもったいないので、ランチは野外マーケットのナッシュマルクトで。トルコ式ケバブをテイクアウトして、ひと休み。



14:00

美術史博物館

ウィーン観光のメイン。内部は広く、絵画の置かれた2階フロアだけでも2時間くらいかかる。ポイントを絞って見学しよう。

FrauTori / shutterstock.com

16:00

甘いモノで
リラックス



カフェで休憩

リンク内へ少し足を延ばして、カフェ休憩。ザッハートルテが名物のザッハーや、皇妃エリーザベトもご歳辰のデームルがおすすめ。

たっぷり
ポリューミー♡

18:30

伝統料理ディナー

ウィーン名物は、大きなヴィーナーシュニッツェル(ポークカツレツ)。専門店から老舗までさまざまな店があるので、吟味しよう。



17:00

レオポルト美術館

1日のラストはレオポルト美術館へ。閉館時間の18:00ぎりぎりまで粘って、シーレやクリムトの名画を堪能しよう。

美術館と
一緒に回りたい



ウィーンのカフェ

かつて多くの芸術家や音楽家が集い、会話を交わしたウィーンのカフェは、さまざまな文化の発信地。町で最も有名なカフェといえば、ザッハー。かのザッハートルテはこの店で生まれ、世界的な人気になったのだとか。王宮のすぐそばにあるデーメルは1786年の創業。絶世の美女として知られる皇妃エリーザベトお気に入りのお店で、毎日のようにケーキを王宮に届けさせたのだとか。

クリムトやモーザーといった世紀末芸術家たちが集まったのが、中心部から少し離れた場所にあるシュペール。1897年、ウィーン分離派はこの店で結成されたのだ。そのほか、クリムトとシーレが初めて出会った店とされるカフェ・ムゼウムもまた、ぜひ訪れたい店のひとつ。

午後のカフェタイムだけでなく、朝、昼、夜と1日通してカフェを利用するのが、ウィーン流。朝食やランチ、夜にはアルコールまで楽しめるので、1日に何軒かはして回るのもおもしろい。

Cafe Data

デーメル
Café Konditorei Demel
URL: www.demel.com

ザッハー
Café Sacher
URL: www.sacher.com

シュペール
Café Sperl
URL: www.cafesperl.at

ムゼウム
Café Museum
URL: www.cafemuseum.at



- ①ウィーン分離派が誕生した伝説のカフェ、シュペール
- ②夏のハイシーズンは、人気カフェは行列になることも
- ③歴史を感じさせるデーメルの内装
- ④地元っ子から観光客まであらゆる人が集う
- ⑤オーダーはザッハートルテとウィーンコーヒーで決まり! デーメルにて



①



②



③



④

ウィーンのユースホステル

Myrthengasse

ADDRESS: Myrthengasse 7, Vienna, 1070, Austria
TEL: +43-1-52363160 FAX: +43-1-5235849
URL: https://hihostels.com/ja/hostels/vienna-myrthengasse?linkid=980028
E-Mail: hostel@chello.at



5泊7日モデルルート

DAY 01 日本 ⇨ ウィーン
DAY 02 ウィーン
DAY 03 ウィーン

DAY 04 ウィーン
DAY 05 ウィーン ⇨ プラチスラヴァ or
ブルノ ⇨ ウィーン

DAY 06 ウィーン発
DAY 07 日本着

ジェネラルインフォ in オーストリア

時差: 日本より8時間遅れ。サマータイム実施期間(3月最終日曜~10月最終日曜)は7時間遅れ。

ビザ: 180日以内、合計90日までの滞在なら不要。

ベストシーズン: 6~9月。7~8月の真夏は暑いが、湿度が低いので過ごしやすい。

内陸部のため、冬の寒さは非常に厳しく、都市部でも氷点下10度になることも。

通貨: ユーロ(€)。2018年5月現在、€1=130.44円

物価: 物価は日本よりもやや高め。ウィーンは特に宿泊費と外食費が高つく。

詳細は地球の歩き方
ウィーンとオーストリア編、
arucoウィーンへ



発行: ダイヤモンド・ビッグ社
www.arukikata.co.jp/guidebook

本体: 1,700円+税(左)
本体: 1,200円+税(右)

2018年は建国25年!

チェコ&スロヴァキアへの ショートトリップ

チェコとスロヴァキアは、かつてチェコスロヴァキアというひとつの国だった。
1993年に袂を分かった両国は、2018年に建国25年のアニバーサリーイヤーを迎える。



ブルノ



モラヴィア地方の中心都市

国土のほぼ中央を境に、西はボヘミア地方、東はモラヴィア地方となっているチェコ。ボヘミア地方の中心が首都プラハで、モラヴィア地方の中心都市がここブルノだ。古くから学問の町として栄え、博物館や美術館などの文化施設やグルメ&ショッピングのエンタメシーンも充実。チェコならではのビールはもちろん、モラヴィアはワインでも有名。町に点在するホスピタ(ビアホール)やワインバーへ繰り出して、思う存分味わってみよう!

チェコには全部で12の世界遺産があるが、うち約半分がブルノの周辺に位置している。広場に面してカラフルな建物が並ぶテルチやゼレナー・ホラの巡礼教会、モダン建築のトゥーゲントハット邸など、実に個性的なのがおもしろい。ブルノへはウィーンから日帰りでも行けるが、できれば数泊して周辺の世界遺産へと足を延ばしてみよう。



- ① オレンジ屋根の美しい町並み
- ② チェコといえばやっぱりビール! オリジナルビールが人気のホスピタ、ペガス
- ③ 町の郊外にあるトゥーゲントハット邸。チェコでは珍しいモダン建築の世界遺産

チェコのユースホステル

Litomysl - YMCA Hostel

ADDRESS: Jiraskova 133, Litomysl, 57001, Czech Republic
TEL: +420461611051 FAX: +420461611051
URL: <https://www.hihostels.com/ja/hostels/litomysl-ymca-hostel>
E-Mail: recepcne@esclitomysl.cz



ブラチスラヴァ



ドナウ川沿いに築かれた可憐な町

ウィーンから東へわずか60km、スロヴァキア的首都ブラチスラヴァがあるのは、ドナウ川のほとり。ハンガリーを加えた3カ国の国境に位置している。当然両国との結びつきが強く、16世紀半ばから19世紀前半まではハンガリー王国の首都であり、女帝マリア・テレジアもブラチスラヴァ城を居城としていた。

観光の中心となる旧市街は、徒歩で十分に歩き回れる範囲。ハンガリー王の戴冠式が行われた聖マルティン大聖堂や真っ青なブルーチャーチを回り、ディナーや早めのナイトライフまで楽しんでまだまだ日帰りができる。なお、スロヴァキアはヨーロッパのなかでも物価が安い。オーストリアだとひとり1万円くらいしてしまいそうな高級レストランで食事しても、その半額以下で済んでしまうのだ。名物のハチミツやスロヴァキアワインだって、格安! 旅の最後に、豪華な思い出をプラスしに訪れるのもおすすめだ。



- ① 旧市街にはパブリックアートが点在。マンホールからのぞくユニークな像は、人気の撮影スポット
- ② ドナウ川を見下ろす丘の上にそびえるブラチスラヴァ城
- ③ 青メインの内装がかわいいブルーチャーチ(青の教会)

ブラチスラヴァのユースホステル

Hostel Patio

ADDRESS: Spitalska 35, Bratislava, 811 08, Slovakia
TEL: +421 2 52925797 FAX: +421 2 52925797
URL: <https://www.hihostels.com/ja/hostels/bratislava-hostel-patio?linkid=980028>
E-Mail: booking@patiohostel.com





つづきをダウンロード(無料)



HostellingMagazine vol.13
まとめてダウンロード



トリップアドバイザー Presents P18
耳寄り! 観光NAVI
ウィーンのクラシックツアー
■ ウィーンの交響楽団
■ ウィーンの庭園



インタビュー P02
女優/深川麻衣
「自分らしさ」は、
周りの人達が気づかせてくれるもの。



教えて! 旅GIRL P20



Youth Hostel Pick up P08
大自然を旅する冒険物語の主人公に
駒ヶ根ユースホステル



松島むうの晴れときどき旅びより P21



Hostelling Magazine x 地球の歩き方... P12
オーストリア世紀末芸術を回る旅
■ ウィーンの美術館巡り
■ チェコ&スロヴァキアへのショートトリップ



Event Information P22